

クランクベイトの自作10 - リップの作製と接着 -

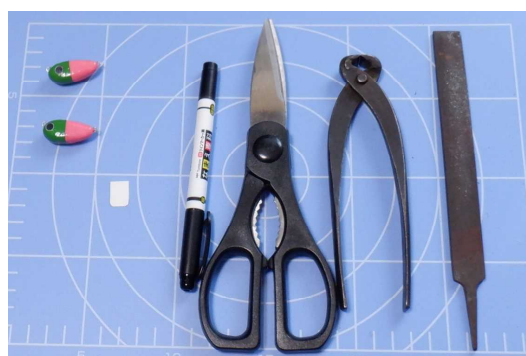
1 はじめに

前回は目の作製と貼り付けについて掲載しました。今回はリップの作製と接着についてです。リップを付ければ完成です。

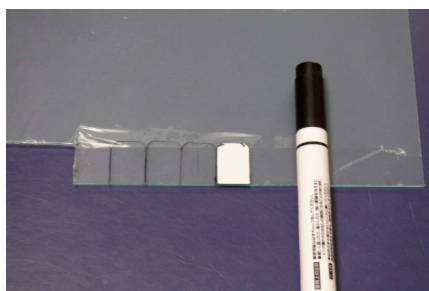
2 リップの作製と接着

(1) リップの作製

リップの素材はポリカーボネート板です。ポリカーボネート板は衝撃に対して割れにくく、プラスチック板の中でトップクラスだそうです。今回はホームセンターで厚さ1mmの板を購入しました。



古はがきに型紙を書き、切り抜きます。ポリカーボネート板に乗せてネームペンでなぞります。今回は、長方形のリップを考えていたので、定規で直接ポリカーボネート板に書けば良かったです。

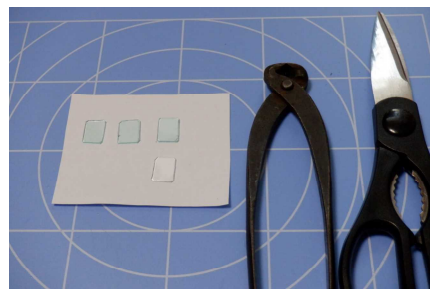


ポリカーボネート板の切断にはキッチンばさみを使用しました。専用のカッターナイフがありますが、キッチンばさみで切ることができたので、これを使用しました。リップの角は家にあった道具で切りました。爪切りで代用できると思います。

右の写真について

上の3枚はビニルがついているので色が付いています。

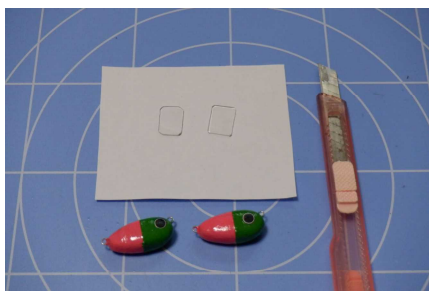
下はビニルを剥がしたので無色透明です。



切り口を整えるためにヤスリで磨きました。大きく磨くときはヤスリを机においてリップを動かし、細かく磨くときはリップを手にとってヤスリを動かしました。

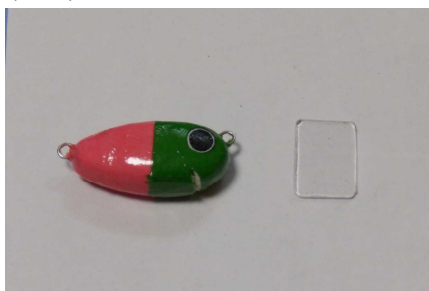
(2) リップの接着

ブランクにリップを固定します。ブランクのリップを固定する位置にカッターナイフで切り込みを入れます。

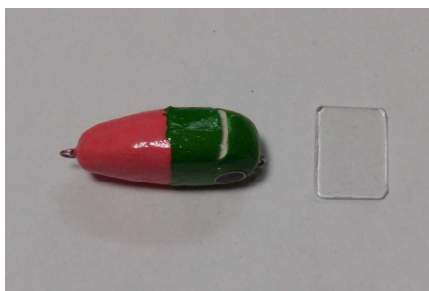


<ブランクに切り込みを入れました>

横から見ると



下から見ると



ブランクにリップが入っている状態を確認したら接着です。接着剤には2液を混合する強力タイプを使いました。10時間乾燥させることで完全に固まるようです。接着剤が固まったら完成です。



※リップの位置について

自作ルアーがシンキングになっています。放置しておけばルアーは沈んでいきます。巻けば浮くようにして、沈む速さと巻いて浮く速さを同じにすれば一定層を動かすことができます。そうするためには、リップを上につければ良いと考えました。

リップを一つには上に、もう一つには下に付けました。ルアーの泳ぎを比較するためです。



3 終わりに

次は、スイミングテストです。糸を巻いたとき(糸を引いたとき)、どのように泳ぐか楽しみです。